

授業科目名	<b>富山の福祉特別講義</b>	科目コード	K1707P05
英文名	Special Lecture: Social Welfare in Toyama		

科目区分	富山の子ども育成		
------	----------	--	--

職名	教授 非常勤講師 非常勤講師 非常勤講師	担当教員名	村上 満 西村 和美 森脇 俊二 道淵 吉則
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科
曜日	水曜日	時限	3限目
開講時期	1年・2年・3年前期	授業の方法	講義
必修・選択	選択	単位数	2単位

授業の概要	富山の特色ある地域福祉の第一線で自立と共生に取り組む実践者に学び、子ども・高齢者・障害者をめぐる地域福祉の現状と課題、展望について理解を深める。4人の講師が、それぞれのテーマとねらいに基づいて講義を展開するオムニバス方式の授業である。			
-------	---	--	--	--

キーワード	富山型デイサービス	地域福祉	障がい者就労	ノーマライゼーション	共生社会
-------	-----------	------	--------	------------	------

到達目標	(西村) 富山における「富山型デイサービス」の歩み・現状・課題を理解する。			
	(森脇) 富山の小地域で住民が支えあう「ケアネット活動」の歩み・現状・課題を理解する。			
	(道淵) 富山の障害児・者の自立と社会参加をめぐる活動の歩み・現状・課題を理解する。			
	(村上) 富山の福祉の総括と精神障害者の自立・社会参加と地域生活支援の歩み・現状・課題を理解する。			

**卒業要件・資格関連等**

卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー

ディプロマポリシー	教育・保育・福祉の専門職としての資質・能力（専門性の向上）	
カリキュラムポリシー	富山の子ども育成	

**キー・コンピテンシー（重視する能力）**

コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

**教授方法（授業方法）**

知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	第1回：村上（1回） 全体オリエンテーション：富山の福祉について	
	【予習】	
	【復習】	
第2回	第2回～第5回：西村講師（4回）  富山型デイサービスは、年齢や障害に関係なく、誰もが一緒に、住みなれた地域でケアを受けられる仕組みである。縦割り行政の壁に風穴をあけた富山型デイサービスは、共生ホームとも言われ、全国に広がりを見せている。乳幼児から高齢者まで、生活を共にする場での育ちや変容を理解し、今後の課題と展望を探る。 (1) オリエンテーション (2) 富山型デイサービスの歩み (3) 富山型デイサービスの実践 (4) 富山型デイサービスの現状と課題	
	【予習】	
	【復習】	
第3回	”	
	【予習】	
	【復習】	
第4回	”	
	【予習】	
	【復習】	
第5回	”	
	【予習】	
	【復習】	
第6回	第6回～第9回：森脇講師（4回）  富山では全国に先駆けて住民参加による小地域福祉活動が展開され、20年を経た今日では、ふれあい活動に加え、支えあい活動を実践する地域ケアネット事業が展開されている。高齢者・障害者・子育て家庭など、地域で孤立しがちな人々の生活課題の解決と、その人らしい生活をめざす住民の活動とそれを支援する専門職の姿に学ぶ。 (5) 地域の現状 (6) 富山型地域福祉の展開 (7) ケアネット活動の現状 (8) ケアネット活動の実際	
	【予習】	
	【復習】	
第7回	”	
	【予習】	
	【復習】	

第8回	"	
	【予習】	
	【復習】	
第9回	"	
	【予習】	
	【復習】	
第10回	<p>第10回～第13回：道淵講師（4回）</p> <p>障がい者が地域の中であたりまえに生活するとはどういうことか。「ラッコハウス」のこれまでの実践活動を通じて富山県における障がい児・者の自立と社会参加の実態と課題を探る。</p> <p>(9) 糸賀一雄の福祉の思想  (10) びわこ学園の実践  (11) 共同作業所の誕生  (12) (13)ラッコハウスの実践と福祉の未来</p>	
	【予習】	
	【復習】	
第11回	"	
	【予習】	
	【復習】	
第12回	"	
	【予習】	
	【復習】	
第13回	"	
	【予習】	
	【復習】	
第14回	<p>第14回～第15回：村上（2回）</p> <p>富山県は、官民一体となって、遅れていた社会復帰施設の整備に着手し、精神保健福祉は、めざましい発展を遂げた。そこで、疾病と障害を併せ持つ障害特性や生活支援の実際を学び、精神保健福祉の全体像を理解し、考える機会とする。</p> <p>(14) 精神障がい者の障害特性  (15) 富山県における地域生活支援活動等（家族会活動、当事者会活動）</p>	
	【予習】	
	【復習】	
第15回	"	
	【予習】	
	【復習】	

第16回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4人の講師それぞれの講義についての評価をもとに、総合的に評価する。</li> <li>・ 各講師について、レポート(80%程度)、平常点(出席・受講態度等20%程度)とする。</li> </ul>		
使用資料 <テキスト>	毎回の授業で、関係資料を配布する。 ・ 毎回の授業で、関係資料を配布する。	使用資料 <参考図書>	・ 毎回の講義で参考となる書籍等について 情報提供する。
授業外学修等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 卒業要件上の選択必修科目であることに注意すること。</li> <li>・ 日頃から富山の福祉活動(児童・障がい者・高齢者等)関連の出来事やニュースなどに注目しておくこと。</li> </ul>		
授業外質問方法	オフィスアワーに研究室を訪問するか、メール(murakami@tuins.ac.jp)で質問してください。こちらから各先生方に連絡します。		
オフィス・アワー			